



薬剤師外来と地域連携

薬剤部では、患者さんに安全で安心できる薬物療法を提供できるよう、さまざまな場面で活動しています。抗がん剤治療を開始する際には、薬剤師は入院病棟において治療スケジュールや副作用などについて患者さんに説明しています。入院中に副作用などで苦痛な症状があれば、適切な支持療法を行えるよう医師や看護師に処方提案や相談をしています。

現在では、抗がん剤治療は外来治療が中心となっています。そのため、外来治療においても患者さんに適切な薬物療法を提供できるよう、2024年8月に「薬剤師外来」を開設しました。薬剤師は、医師の診察前に患者さんと面談を行い、患者さんから聞き取った内容を薬学的に評価し、抗がん剤の休薬や支持療法の必要性の有無を判断して医師へ処方提案を行っています。

また、抗がん剤治療の内容や副作用の状況について、患者さんを通じ、他の医療機関へ文書で情報提供を行っています。地域の保険薬局の薬剤師は、その情報をもとに患者さんの体調や服薬状況を電話により継続して確認し、「トレーシングレポート」という文書で当院の薬剤部へ報告してくださっています。保険薬局からの情報提供は、副作用などで苦痛を抱える患者さんを薬剤師外来でサポートするきっかけとなったり、重篤な副作用の早期発見につながる場合もあります。

薬剤部では、「薬」というキーワードで患者さんと地域をつなぎ、患者さんに安全で安心できる薬物療法を提供するため、今後も幅広い地域連携の強化に薬剤師が一助となれるよう努めてまいります。



薬剤部
ホームページ



地域緩和ケアにおける薬剤師の取り組み

緩和ケアの普及により、緩和ケア目的での転院または在宅医療へ移行する患者さんが増えています。当院のサポーターケアチーム (SCT) では、地域医療機関と連携し、療養場所が変わってもシームレスなケアを提供できる体制を整備しています。

連携施設の医師が当院の緩和医療科の非常勤医師として勤務しており、患者さんは転院または転医前に医師と顔の見える関係が築けています。SCTの薬剤師は、患者さんの使用薬剤を毎日確認し、回診票を作成して医師へ薬剤の情報提供を行っています。また、転院先や転医先で継続しやすいような処方設計も行っています。

最近では、PCAポンプを用いて疼痛コントロールを行うケースが増えています。経口困難となった場合でも、PCAポンプを用いることで痛いときに患者さん自身でレスキュードーズボタンを押せるため、良好な疼痛コントロールが期待できます。当院ではSCTが介入している患者さんのPCAポンプ内の麻薬の組成については薬剤師が処方提案しています。

このように、SCTの薬剤師は患者さんの病状変化を予測し、療養場所に応じた薬剤選択や服薬支援を行っています。



イベント・研修会のお知らせ

当院では様々な教室・イベント・講座を開催しております。ぜひ、ご参加ください。
開催後の内容については、当院ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

イベント名	県病メディコトリム
概要	生活習慣の改善を目的とした医師、看護師、管理栄養士、健康運動指導士、事務などの医療スタッフによる健康教室です。
場所	青森県立中央病院 研修室及び大会議室
日時	5月12日（火）、5月26日（火）、7月14日（火）、7月28日（火） 18:00～20:00
申込期限	5月開催：5月11日（月）、7月開催：7月13日（月）
お問い合わせ	経営企画室企画課（017-726-8402）



イベント名	がん患者さんのための運動教室
概要	がん患者さんの体力維持・増強のための運動教室です。 患者さんのご家族や当院に通院していない方でも参加できます。
場所	青森県立中央病院 研修室
日時	4月20日（月）、5月18日（月） 13:00～14:00
お問い合わせ	がん相談支援センター（017-726-8435）

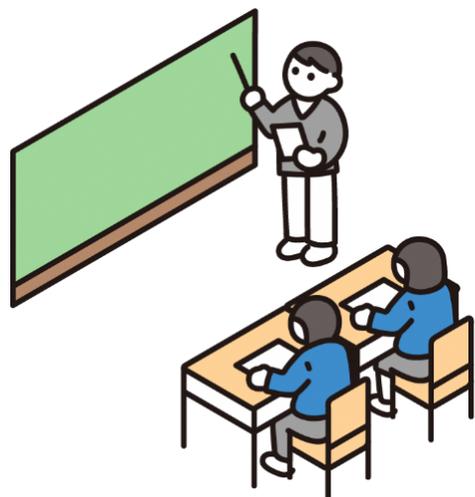


イベント名	がんサロンひだまり
概要	がん患者さんが自由に語り合い、体験を共有できる場です。 入院中の方でも、当院に通院していない方でも参加できます。
場所	青森県立中央病院 研修室
日時	4月20日（月）、5月18日（月） 14:15～15:45
お問い合わせ	がん相談支援センター（017-726-8435）



この他にも、地域の医療従事者を対象とした「スキルアップ研修会」や、介護従事者を対象とした「介護従事者に知ってほしい医療を学ぶ研修会」を開催する予定です。詳しくは当院ホームページの「研修会・イベントなど」をご覧ください。

研修会・イベントなど
医療連携部





院内での取組みを紹介します！



世界早産児デー in 青森県立中央病院

総合周産期母子医療センターでは、11月17日の『世界早産児デー』にあわせ、世界早産児デーイベントを開催しました。

【県病だより】
世界早産児デー
ホームページ



会場を世界早産児デーのシンボルカラーの紫色に彩り、実際に使用しているドクターカーや保育器、早産児の人形等を展示し、参加者に実際に見て触れてもらいました。

「世界で生まれる赤ちゃんの10人に1人が早産児」である現状、そして早産児とご家族が抱える課題等はなかなか知られていませんが、このイベントを通し、少しでも多くの人が早産児について目を向け、早産児を取り巻く輪が広がればと思います。

問い合わせ先：017-726-8484（周産期情報室）

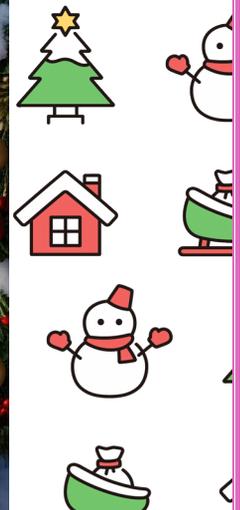
第114回 ふれあいコンサートの開催

令和7年12月22日に第114回 ふれあいコンサートを開催しました。

新型コロナウイルスの影響により、令和2年度以降は開催を中止していましたが、6年ぶりに開催することができました。

今回は、指揮者・当院医療顧問の馬場正之先生、演奏・弘前大学医学部管弦楽団の皆さんによるクリスマスコンサートでした。「クリスマスキャロル・メドレー」などが演奏され、会場はクリスマスの雰囲気に包まれました。

当日は約70名の方にご来場いただき、美しい演奏に耳を傾けながら、心安らぐひとときを過ごしていただきました。演奏後には、来場者から大きな拍手が送られました。



令和7年度の振り返り



辞令交付



ワールドカフェ



移乗介助研修



静脈注射研修



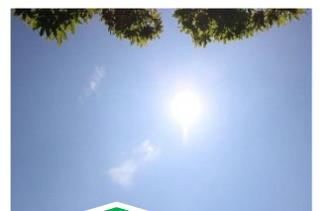
輸血管理研修



360度カメラで撮影



NOBORI
登録者5000人突破



連日の真夏日



災害医療総合訓練



共同処置室
運用開始



看護学生体験見学



クリティカルケア研修



ねぶた祭参加



未来の医師
医療チュートリアル



馬偕医護管理
専科学校見学



西村運動指導士
県健康づくり功労者受賞



おむつマイスター検定



小児病棟クリスマス



私のめざす看護
発表会